

センター便り

江戸川区口腔保健センター

Newsletter

〒134-0013 東京都江戸川区江戸川5-14-4 Tel/03-5667-8020 Fax/03-5667-8022



ご挨拶

公益社団法人江戸川区歯科医師会副会長 岡本和久

口腔保健センター事業に是非ご参加を！

江戸川区歯科医師会では江戸川区行政と毎年江戸川区議会の承認を得て多くの事業を行なっています。その中でも、様々な健診検診事業、休日応急歯科診療所などは区行政からの委託事業であり、根拠法に基づいたあくまでも行政の事業です。

しかし、区口腔保健センターは江戸川区歯科医師会が運営する事業に行政が補助金を出すという江戸川区歯科医師会の事業です。したがって、合目的であることは必要ですが、区民、時代のニーズに合わせて事業を運営していくことは歯科医師会が主体となり決めて

いかないといけません。

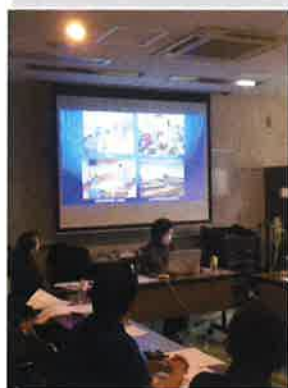
時代のニーズに必要な事を行うため、協力医は必要な知識や技術を得る必要がありますが、それは貴重な機会となるはずです。特に、開業したて、入会間もない先生はいろいろ大変だとは思いますが、将来的にも良い研鑽を積むことにもなりますし、若い先生方の新しい考え無くして口腔保健センターの将来はないと思っています。

現在、口腔保健センターでは協力医を募集しております。是非ご検討をお願いいたします。

令和2年度 口腔保健センター見学会 報告

口腔保健センター運営実施委員会委員長 金栗勝仁

令和3年1月21日(木) 午後1時から2時まで、会員の先生を対象にした江戸川区口腔保健センター見学会を行いました。入会して間もない先生も含めて8名もの先生方に参加していただきました。



研修室で事務長の司会により見学会は始まり、本会の小野寺専務、外園室長が挨拶を行い、参加された先生方には自己紹介していただきました。その後、清水畑担当理事により、センターの概要、事業形態、協力医参加についてなどの説明を行いました。

した。

参加された先生方には、診療室の見学をしていただきました。私と鹿野先生が協力医出勤日でしたので、診療室の案内、説明を行い、その際協力医の診療内容等の質問を受けました。センターは障害のある方々の歯科診療を行う施設ですが、重度の方は室長を始め専門医の先生が診療し、また、有病高齢者も多いので、普段の診療室で行っている診療と大きく変わらないことなどのお話をさせていただきました。研修室に戻り、



先生方からさらに質問を受け、閉会となりました。今回、参加された先生方はとても意欲的で、協力医になっていただこうと有難く思いました。参加された先生方、有難うございました。この見学会は今後とも行っていく予定ですので、ご興味のある先生方は是非、ご参加の程宜しくお願い致します。協力医になりたいと思われる先生方、随時募集しておりますので、センターまでご一報いただければ幸いです。



先生方からさらに質問を受け、閉会となりました。

今回、参加された先生方はとても意欲的で、協力医になっていただこうと有難く思いました。参加された先生方、有難うございました。

この見学会は今後とも行っていく予定ですので、ご興味のある先生方は是非、ご参加の程宜しくお



令和2年度 口腔保健センター区民講演会 報告

口腔保健センター運営実施委員会副委員長 竹内陽平

令和3年2月4日(木)18時30分より江戸川区歯科医師会館会議室にて、口腔保健センター区民講演会が開催されました。

昨年度まで口腔保健センターでは区民・介護事業者の方々を対象として「口腔ケアサポーター養成研修会アドバンス講演会」を開催していましたが、今年度より「口腔保健センター区民講演会」として開催する運びとなりました。昨年より引き続き新型コロナウイルス感染症が拡大し、また緊急事態宣言という最中のためズーム(Zoom)によるウェブ講演会という形式で行い、会場には十分な衛生管理のもと必要最低限の人数で対応しました。

今回は東京都立大学名誉教授・放送大学客員教授であられる星旦二先生をお招きし、「なぜかかりつけ歯科医師がいる人が長生きか?」という演題で講演して頂きました。

江戸川区口腔保健センター運営実施委員会副委員長・福田喜則先生の司会のもと、江戸川区歯科医師会会長・中島信先生、江戸川区医師会会長・田部浩生先生にご挨拶頂き、江戸川区福祉部長・森淳子様、江戸川区健康部健康推進課長・石原詠子様、江戸川区健康部健康推進課推進係長・根本行洋様のご紹介の後講演が始まりました。

星先生は公衆衛生学の統計データより、従来考えられてきた視点を見直す必要性を強調しておられました。その上で今回のテーマとして、健康長寿を決める3つの要因①子供たちの望ましい生活習慣②健康長寿のための口腔ケア③健康長寿のための健康住宅を挙げられ、それぞれに関して詳細に解説されました。講演中に特に強調されていた内容について説明いたします。

健康寿命を規定する要因は多様で、その中でも保健医療の役割が占める割合は環境や遺伝、日常生活習慣の占める割合と比較すると、遥かに少ないということです。特に注目される事実を列記します。

- ・田舎と上流ほど長寿である。
- ・上下水道の整備により感染症は抑制される。
- ・胃がんでの死亡率が低下した原因は、冷蔵庫が普及し燻製等(ニトロサミン等の発ガン性物質を含む)を摂取する頻度が減ったため。
- ・高血圧治療の有無と生存率には有意差が認められない。

- ・総コレステロール値が高いほど死亡率が低下している。コレステロールは細胞壁の材料で、美肌を保つ。破裂しない丈夫な血管を維持する。

これらのことから、医療依存からの脱却が非常に大切で、日々の生活モデル(小さなことの積み重ね)が好ましくなる状態を作れる人が健康長寿であるということが示されます。

また健康長寿のための口腔ケアに関しても興味深いデータを示されました。

- ・かかりつけの歯科医師がいると、要介護状態になりにくい。
- ・定期的なメンテナンス群が、望ましい口腔清掃状態である。
- ・歯間ブラシを使い、歯肉の状況が好ましいほど主観的健康感が高い傾向にある。

先生は長年の取り組みにより、「かかりつけ歯科医師が歯科衛生士と共に、受診者の口腔ケア(予防重視で歯間ブラシを使うこと)を行う事が、歯肉の保全や口腔衛生の向上に寄与し、本人のQOLが規定されるという因果構造」を世界で初めて明確にされました。

最後に江戸川区歯科医師会副会長・岡本和久先生の挨拶で講演会は閉会しました。今回はウェブ講演会という事でしたが、多職種の皆様に参加して頂き本当に有難うございました。今回の講演で、来る超高齢化社会における歯科医師の役割が明確にされたと感じます。今後も区民の皆様のお力になれる様、定期的に講演会を行う予定でおりますのでご参加よろしく願いいたします。



かと思いますが、精一杯努力して参りますので、ご指導の程よろしく願いいたします。

新スタッフ紹介

非常勤歯科医師 濱 文奈

令和2年4月より着任いたしました濱文奈と申します。平成30年度在任中は多大なご厚情とご指導を賜り、心より御礼申し上げます。至らない点多々ある

非常勤事務 中村 麻衣子

令和2年10月から事務員として勤務しております中村麻衣子と申します。障害者施設のボランティアや、経理事務の経験はありますが、障害者歯科診療に携わ

るのは初めてなので、皆様のご指導の下日々勉強しつつとめていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

